

日本西アジア考古学会・松戸市立博物館共催公開セミナー

イラン考古学への招待

目 次

ごあいさつ		
	松戸市立博物館 館長	岩崎 卓也 ----- 1
公開セミナーの開催にあたって		
	日本西アジア考古学会 会長	近藤 英夫 ----- 2
「イラン考古学への招待」趣旨説明		
		足立 拓朗 ----- 3
タペ・サンギチャハマーク遺跡について		
		古里 節夫 ----- 5
カスピ海南海岸（イラン）の考古学的課題		
—日本・イラン共同調査団による現地調査成果を加味して—		
		大津 忠彦 -----10
パルティアからササン朝ペルシャへ		
		春田 晴郎 -----16
ペルシア陶器の歴史 —イスラーム時代を中心に—		
		岡野 智彦 -----22

表紙：ジャラリエ・テペ出土の“Caspian Beauty”